

市有林(向嶽)を活用した 木質バイオマス材生産共同実証事業について

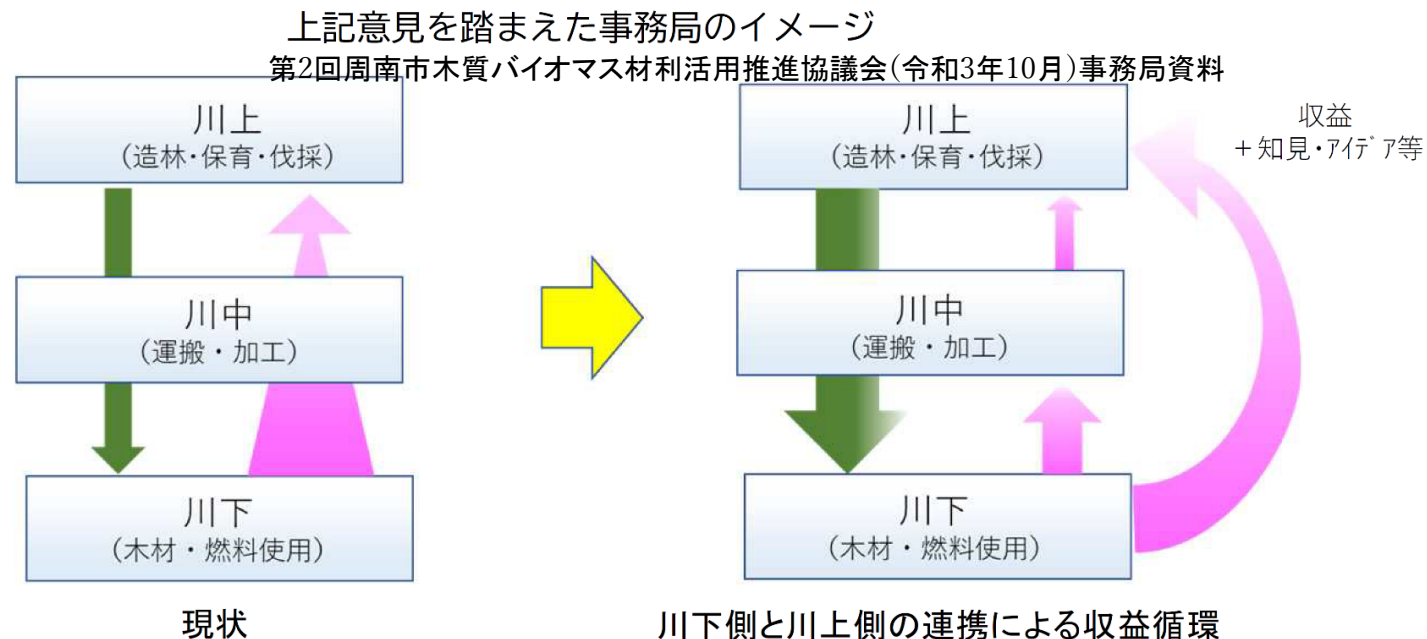


令和5年1月19日
周南市

協議会等での意見

R3.1.15 第1回木質バイオマス材利活用推進協議会（森林総合研究所:宇都木委員意見）

- ・林業経営は厳しく、伐採後の再造林は3割程度。着実な再造林が課題。
- ・植林から木材利用まで、川上側と川下側が連携し、川上側へ収益が循環するシステム作りが必要。



事務局での検討

地域における木質バイオマス材利活用推進の観点から

川上側(森林)へ、収益が循環するシステムの構築に向けて

まずは、市有林で民間企業と市の共同による森林整備・バイオマス材の生産実証を検討できないか。

コンビナート企業

■課題

- ・競争力の確保・強化とCO2削減の両立
- ・CO2吸収源確保、SDGs、社会・地域貢献等

■リソース

- ・民間活力(資金、人材、資産、技術、ノウハウ、迅速・柔軟・効率性等)



共同・連携
シナジー




周南市

■課題

- ・地域の産業振興及び雇用確保
- ・森林整備、循環利用

■リソース

- ・森林資源(市有林:5千ha)
- ・森林整備・管理のノウハウ、ネットワーク



民間企業と市による民間活力を導入した
森林整備(再造林等)、バイオマス材生産等共同実証事業

連携協定締結について

令和3年12月15日（水）

木質バイオマス材利活用及び森林整備等に関する連携協定締結式



木質バイオマス材利活用
及び森林整備等に関する
連携協定を締結

出光興産株式会社

東ソー株式会社

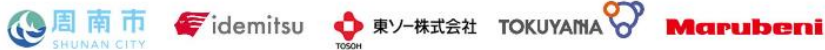
株式会社トクヤマ

丸紅株式会社

周南市

連携協定を契機に実証
事業の取組をスタート

連携事項について



2021年12月15日
山口県周南市
出光興産株式会社
東ソー株式会社
株式会社トクヤマ
丸紅株式会社

木質バイオマス材利活用及び森林整備等に関する連携協定の締結について

山口県周南市(市長:藤井 律子/以下、「周南市」と)、出光興産株式会社(代表取締役社長:木藤 俊一/以下、「出光」)、東ソー株式会社(代表取締役社長:山本 寿宣/以下、「東ソー」)、株式会社トクヤマ(代表取締役社長:横田 浩/以下、「トクヤマ」)、及び丸紅株式会社(代表取締役社長:楠木 真澄/以下、「丸紅」)は、2021年12月15日に、木質バイオマス材利活用及び森林整備等に関する連携協定書(以下、「本協定」)をそれぞれ締結しました。

本協定は、2021年1月に設置された「周南市木質バイオマス材利活用推進協議会」を契機として、周南市と、出光、東ソー、トクヤマ、丸紅が、周南市における木質バイオマス材の利活用及び森林整備等の推進を図ることを目的とするものです。

■連携事項

- ① 木質バイオマス材の利活用及び地産地消
- ② 森林の整備及び有効活用
- ③ その他、木質バイオマス材の利活用及び森林整備等の推進を図るために必要と認める事項

今後、本協定に基づき、市有林を活用した木質バイオマス材生産及び森林整備等の共同実証事業の実施に向けて、検討を進めていきます。

【周南市の市有林】



【お問い合わせ先】周南市 産業振興部 農林課 TEL: 0834-22-8360

以上

連携事項

① 木質バイオマス材の利活用及び地産地消

② 森林の整備及び有効活用

③ その他、木質バイオマス材の利活用及び

森林整備等の推進を図るために必要と認

める事項

植林実証共同事業契約について

令和4年9月1日（木）

植林実証共同事業契約締結

項目	内容
目的	周南市の市有林を活用し、土壌に適した樹種を選定して植林事業を行い、収益の改善に取り組むと共に地域での需要創出及び開発を促進し、林野へ安定的に収益を還元する「持続可能な地産地消の森林経営モデル」を構築する。
契約内容と役割	企業:樹種、施業方法の計画を策定。造林費用等を負担 周南市:造林地及び造林木の保護管理
契約期間	10年間（以降は更新）

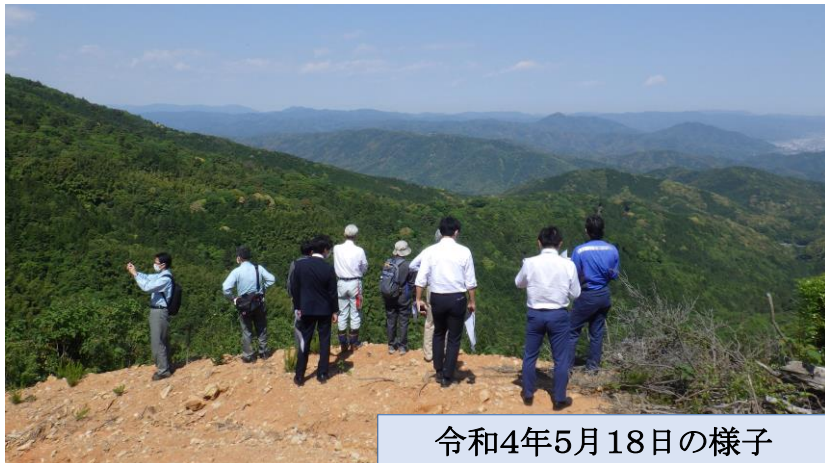
周南市戸田地区向嶽の市有林を実証地とする。

樹種選定について

森林総合研究所 宇津木委員、山口県から御助言いただいた上で樹種を協議・検討



令和4年5月13日の様子



令和4年5月18日の様子

R4.4 周南市が樹種を検討



R4.4.24 宇津木委員に相談



R4.5.13 山口県による現地確認・打合せ



R4.5.18 連携協定締結5者で現地確認・打合せ

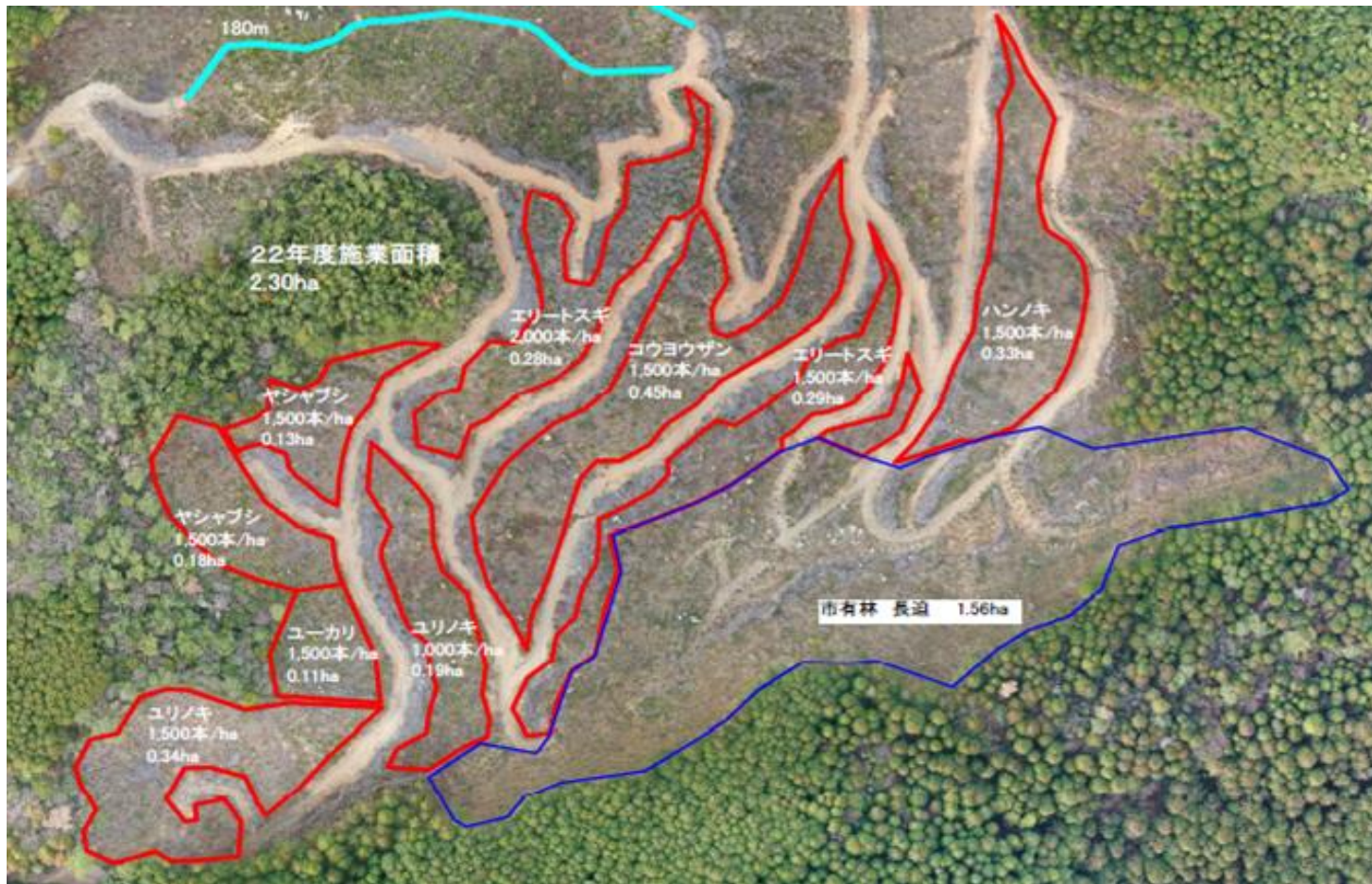
※以降、随時樹種選定について5者が協議

樹種選定について

樹種	属性と特長
エリートツリー（スギ）	スギ科スギ属の常緑高木。 各地の山で選抜された精英樹（第1世代）の中で、特に優れたものを交配した苗木から選ばれた第2世代以降の総称。
ハンノキ	カバノキ科ハンノキ属の落葉高木。 水辺を好み、低地の湿ったところによく生え、高さ約20mになる。
ユリノキ	モクレン科ユリノキ属の落葉高木。 日本には明治初期に渡来した。 原産地では高さ60mになるものがある。
ヤシャブシ	カバノキ科ハンノキ属の落葉高木。 日当たりを好み、法面や崩壊地、はげ山などやせ土でもよく生育する。
コウヨウザン	スギ科コウヨウザン属の常緑高木。 江戸時代末期に渡来し、暖地によく植えられている。 大きいものは高さ35m、直径1mになる。
ユーカリ	フトモモ科ユーカリノキ属の常緑高木。 原産地では45～55m、日本でも20～30mになる。

参考文献：林 弥栄[1999]『山溪カラー名鑑 日本の樹木株式会社』、山と溪谷社
出典：国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 材木育種センター HPより
<https://www.ffpri.affrc.go.jp/ftbc/business/sinhijnnsyu/seicyou.html>

向嶽植林配置について



2.3 haに6樹種を植林 (計3,500本)

エリートツリー (スギ) (0.57 ha)

ハンノキ (0.33 ha)

ユリノキ (0.53 ha)

ヤシャブシ (0.31 ha)

コウヨウザン (0.45 ha)

ユーカリ (0.11 ha)

向嶽植林等作業行程について

造林の流れについて

5者で随時事業の進捗確認

R4.10月初旬～10月中旬 作業道の敷設



R4.10月中旬～11月下旬 地拵え



R4.11月下旬～12月中旬 植林

植林セレモニーについて

令和4年12月15日（木）

木質バイオマス材生産共同実証事業 向嶽植林セレモニー



植林作業の完了を踏まえ

木質バイオマス材生産共同実証

事業向嶽植林セレモニーを実施

出光興産株式会社

東ソー株式会社

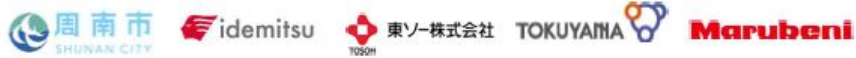
株式会社トクヤマ

丸紅株式会社

山口県東部森林組合（施業実施）

周南市

今後の展開について



2022年12月16日
山口県周南市
出光興産株式会社
東ソー株式会社
株式会社トクヤマ
丸紅株式会社

山口県周南市木質バイオマス材生産共同実証事業の植林について

山口県周南市(市長:藤井 律子)と、出光興産株式会社(代表取締役社長:木藤 俊一)、東ソー株式会社(代表取締役社長:栗田 守)、株式会社トクヤマ(代表取締役社長:横田 浩)、丸紅株式会社(代表取締役社長:柿木 真澄)は、木質バイオマス材生産共同実証事業(以下、「本実証事業」)の一環として2022年9月1日に締結した「植林実証共同事業契約書」に基づき、山口県周南市の戸田(へた)地区にある向嶽(むかむか)にて早生樹種等を植林しました。

【植林セレモニー 2022年12月15日】



本実証事業は、2021年1月に設置された「周南市木質バイオマス材活用推進協議会」を契機として、2021年12月15日に締結した「木質バイオマス材活用及び森林整備等に関する連携協定」を踏まえ、5者が共同で早生樹を活用した再造林による持続可能な森林経営モデルの構築を図ることで、森林資源の活用を促進し、木質バイオマス材の地産地消を目指すものです。

■植林樹種

- | | |
|------------------------|-----------------|
| ○スギ (エリートツリー) (0.57ha) | ○ハンノキ (0.33ha) |
| ○エリノキ (0.53ha) | ○ヤシャブシ (0.31ha) |
| ○コウヨウゼン (0.45ha) | ○ユーカリ (0.11ha) |
- (計 2.3ha)

5者は今後も市有林を活用した木質バイオマス材生産の取組を推進していきます。

【お問い合わせ先】周南市 産業振興部 農林課 TEL: 0834-22-8360

早生樹等を活用した再造林による持続可能な森林経営モデルの構築を図る。
森林資源の利活用を促進し、木質バイオマス材の地産地消を目指す。

今後も企業と市が連携を図り、市有林を活用した木質バイオマス材生産の取組の検討を継続。